



Fashion Channel News

- January, 2018 -

- #1480 2017-18 Fall/Winter Tokyo CoLlection part5
[収録ブランド] マトフ/ミントデザインズ/モト・ゴー/モトヒロ・タンジ/
ミューラル
- #1481 2017-18 Fall/Winter Tokyo CoLlection part6
[収録ブランド] ミュージアム・バイ・エイチフラクタル/ネーム/ロギーケイ/
サルバム/ターク
- #1482 2017-18 Fall/Winter Tokyo CoLlection part7
[収録ブランド] ティート・トウキョウ/トクコ・プルミエヴォール/ウジョー/
ヴィヴィアンノ・スー/ウィーウィル
- #1483 2017-18 Fall/Winter Tokyo CoLlection part8
[収録ブランド] ヨウヘイ・オオノ/ユキ・トリキ・インターナショナル/ユマコシノ/
ウノ・ピウ・ウノ・ウヴァーレ・トレ/ファイブノット
- #1484 2017-18 Fall/Winter Paris Haute Couture CoLlection
[収録ブランド] アレクサンドル・ヴォーチェ/ディオール/ジョルジオ・アルマーニ・プリヴェ/
イリス・ヴァン・ヘルベン/プロエンザ・スクーラー/ヴィクター&ロルフ/ユイマ・ナカザト



7-17-14 Roppongi Minato-ku Tokyo 106-0032
TEL. 03-3746-3323 FAX. 03-3408-5549
URL. <http://fashionnews.co.jp> E-MAIL. info@fashionnews.co.jp

Collection

#1480-#1483

パリで躍進する日本人デザイナーたち
2017-2018 秋冬 東京コレクション



2017-2018 秋冬の最新コレクションを世界に向けて提案する「Amazon Fashion Week Tokyo 2017A/W(FWT)」が2017年3月20日～25日の6日間、渋谷ヒカリエをメイン会場に開催された。アマゾンが冠スポンサーとなって2シーズンを迎えた今回、参加ブランドは初参加ブランド17、海外ブランド7を含む総勢51にのぼった。

アマゾンでは新人デザイナー支援プログラム「AT TOKYO(アット・トウキョウ)」を今期より始動。東京らしさを表現している3ブランドのランウェイショーをサポートするとともにAmazon Fashionのサイト内コンテンツで3ブランドの商品を発売した(番組ではそのうちの「GROWING PAINS(グローイング・ペインズ)」を収録)



東京トレンドといえば、これまでストリート色の強い独自路線を追求する傾向にあったが、今シーズンはパリやミラノで提案されたグローバルトレンドが継承されている。注目トレンドはチェックやテラードジャケットに代表されるブリティッシュスタイル、肩の張ったパワーショルダーが印象的な1980-1990年代スタイル、フリルやギャザーで袖にボリュームを持たせた盛り袖、ラメやベルベットといった光沢素材を取り入れたスタイル、フライトジャケットやキルティングコートにフェミニンに味つけしたミリタリースタイルなど。



2017-2018 シーズン、最も高い評価を得たのは吉原英明と大出由紀子がデザイナーを務める「HYKE(ハイク)」。ミリタリーテイストを軸に、ライダースジャケットやフライトジャケットに新解釈を加え、モード服へと押し上げた。袖と襟を取り除いたライダースジャケットやジップアップなしのフライトジャケットをロングシルエットのアイテムとコーディネート。メンズウェアとしてもレディースウェアとしても着用できるようなジェンダーレスなデザインがポイントだ。



一方、「mintdesigns(ミントデザインズ)」(デザイナー：勝井北斗、八木奈央)は「She is so British...」をテーマに、タータンチェックやバラのモチーフを用いた英国調ドレスを披露した。ゆったりシルエットのコートやワンピースにはクラシカルなバラのジャカード織りがほどこされている。スカートはラップにしたりプリーツにしたりと、英国の民族衣装を思わせるディテールを採用。織り上げ加工や刺繍で立体的にデザインされている。

Collection

#1484

参加デザイナー増加で活気づく

2017-2018 秋冬 パリオートクチュールコレクション



2017-2018 秋冬シーズンの最後を飾るパリオートクチュールコレクションが7月3日～7日の5日間にわたって開催された。正式参加ブランドは約40。今シーズンは中国や韓国からの若手デザイナーや「PROENZA SCHOULER(プロエンザ・スクーラー)」らニューヨークの実力派ブランドが加わるなどブランド数が増え、プレタポルテ並みの過密スケジュールとなった。番組では日本人参加デザイナー中里唯馬が手掛ける「YUIMA NAKAZATO(ユイマナカザト)」を含む6ブランドを紹介する。



Maria Grazia Chiuri(マリア・グラツィア・キウリ)がクリエイティブ・ディレクターをつとめる「DIOR(ディオール)」が着目したのは、強くたくましく生きる女性冒険家。ムッシュ・ディオールのデビューコレクションから70周年に当たる今年、アーカイブを紐解くうちに、メゾンの世界展開を物語る地図が描かれた1953年制作のアルベール・デカリの彫刻に行きついた。旅の路中の女性冒険家をイメージソースに、メンズのワードローブと、異国情緒漂うエスニックなアイテムが融合したスタイルを提案。千鳥格子やツイードといったメンズファブリックが随所に使われている。

「IRIS VAN HERPEN(イリス・ヴァン・ヘルペン)」は10回目の記念すべきコレクションテーマとして「AERIFORM」を選択。ランウェイには大きな水槽が置かれ、ドラムやヴァイオリンなどの楽器が演奏された。空気や空中にインスピレーションを求め、エアリーなレース状のドレスや薄いプリーツのドレスなど、軽さを強調したアイテムが並んだ。メタリックのマイラー素材を溶かしながらレーザーカットしたコットンとチュールのボンディングドレスが見るものを圧倒する。